

団体名 栗国村立栗国中学校	連絡先 TEL： 098-988-2011 Eメール： aguni-ky@cosmos.ne.jp
------------------	--

1 実践事項①

「キャリア教育の視点を踏まえた小中連携教育の実践」

2 実践内容

本校では「15 の旅立ち」に向け、保護者や地域の人に囲まれた小中学校の間にたくましく生きる力を身につけさせるため、さまざまなキャリア教育に取り組んでいる。小学校1年から中学校3年までの発達段階に応じた体験学習や外部講師を活用した講習会などを積極的に取り入れている。

3 説明資料

(1) 小学校の取り組み例

- ①お仕事見学(小1・2年) ②島内職場見学(3・4年) ③島内職場体験学習(5・6年)

(2) 中学校の取り組み例

①全学年共通の取り組み

全学年共通で外部講師を招いた講演会・講習会を実施している。限られた視野に収まらず、幅広い知識や体験をえる活動としてとして取り組んでいる。

ア：先輩に学ぶ進路学習会

イ：マナー講習会

ウ：財政教育講習会



エ：ライフプラン講習会



オ：地域人材を活用した職業人講話(中1・2年)



②第1学年の取り組み

総合的な学習の時間を中心に地域探究活動に取り組んでいる。地域の特色ある産業を知ること、自信を持って地域をアピールできる生徒の育成に努めている。

ア：パン作り体験

イ：塩づくり体験

ウ：かりんとう作り体験



③第2学年の取り組み

小学校や中学校 1 学年で地域の産業等を見学・体験してきたことをもとに、中学校 2 学年では島外に出て将来就きたい職業を考える職場体験学習に取り組んでいる。実際の職場を体験することで、自己の将来に対する意識が高まり、より現実的に考えるようになっている。

ア：職場体験の様子①



イ：職場体験学習の様子②



ウ：職場体験の様子③



④第3学年の取り組み

第3 学年では、15 の旅立ちに向けてより具体的な取り組みを行っている。実際の進路選択に向けた高校訪問を行い、進路に対する意識を高める取り組みを行っている。また、親元を離れることから自分で料理をする体験としてお弁当作りに取り組んでいる。できたお弁当を保護者へ感謝の気持ちを表してプレゼントするよい取り組みとなっている。

ア：お弁当づくり体験



イ：保護者へのプレゼント



ウ：高校訪問の様子



4 成果

- (1) 地域人材を活用することにより、自分たちの地域を知るとともに、地域への誇りを持つようになってきた。
- (2) 「15 の旅立ち」に向けて実践的な活動を行うことで、自分の将来や進路の見通しを立てて考えるようになってきた。

5 課題

- (1) 小中学校で連携し、一緒に取り組めるように各種行事の計画を作成して引き継いでいるが、教職員の入れ替わりが早く、文書や写真、動画だけの引き継ぎになってしまい、十分に伝えることができない。
- (2) 地域人材を活用した取り組みでは、限られた人に偏ってしまうので、人材バンクを作成するなど地域人材の掘り起こしが必要である。